

# 公安委員会定例会議(第22回)の開催状況

第1 日 時 令和4年9月14日(水)

午後1時30分 ～ 午後4時55分

第2 出席者 五葉委員長、曾我部委員、渡部委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長

刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長

総務課長

第3 議事の概要

## 1 渡部委員説示

8月末、愛南警察署において「ジェネレーションギャップ(世代間格差)と働き方」をテーマとした講演をする機会がありました。

一般的に世代が違えば育った環境が異なり、それぞれの知識や価値観が違うのは当たり前のことです。例えば、いわゆる「Z世代」の若者は、褒めて育てられている、自分らしさを重視する、多様な生き方を選択できる、といった特徴があります。それに比べ、ベテラン世代の人たちは、先輩から叱咤激励の言葉を受けながら育ちました。こうした違いがある中で、ベテランも若手も同じ組織の一員として働くわけですが、ベテラン世代は、Z世代に早く即戦力になってもらいたい一心で厳しく指導します。ベテラン世代は決して意地悪をしているのではなく、「正しい」と信じて指導しているだけですが、一方でZ世代の若者は、自分の身にそうした厳しい指導が続くと、我慢することなく、その場を去ってしまう傾向が非常に強いそうです。

これまで私も世代間格差を強く意識したことがありませんでしたが、今回の講演は、「知らぬ間に相手の気持ちを無視して自分の思い通りに振る舞っていたのではないか」、あるいは「人権感覚が欠如していたのではないか」と自分を振り返る良い機会になりました。

人それぞれに個性があり一概に言えませんが、今一度、誰もが世代間格差を意識することが大切です。世代間格差を解消するためには、相手との違いを真摯に受け止め、お互いを理解し合う努力が必要であると思います。

県警においては、引き続き、世代間における考えの違いや人権感覚に関する教養の機会等を設けるなどして、全職員にその重要性を周知するとともに、誰もが働きやすい風通しの良い職場づくりに努めていただきたいと思います。

最後に、私の好きな詩人の坂村真民が詠んだ詩を紹介します。「闇があるから光がある 苦があるから楽がある 闇を生かせ 苦を生かせ」という詩ですが、その意味は、たとえ、波乱万丈の人生を進むことになっても、

自らの人生をしっかりと受け止め、次に生かしていこうという情感を謳っています。まもなく警察学校の初任科生が卒業式を迎え、学校での思い出を胸に第一線に羽ばたいていきます。交番や駐在所等で懸命に活躍している若手警察官を始め、県警の皆様に激励のエールの意味を込めて、この詩を送りたいと思います。

## 2 決裁事項(9月6日分を含む)

### (1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和4年第21回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

### (2) 公安委員会宛て苦情申出の受理(2件)

総務室から、公安委員会宛て苦情申出の受理について伺いがあり了承した。

### (3) 愛媛県公安委員会及び愛媛県警察外部通報等処理要綱の制定

総務室から、愛媛県公安委員会及び愛媛県警察外部通報等処理要綱の制定について伺いがあり了承した。

### (4) 犯罪被害者等給付金(重傷病給付金)支給裁定(2件)

総務室から、犯罪被害者等給付金(重傷病給付金)支給裁定について伺いがあり了承した。

### (5) 審査請求の申立て

警務部から、審査請求の申立てについて伺いがあり了承した。

### (6) 禁止命令等実施報告

生活安全部から、禁止命令等実施報告について伺いがあり了承した。

### (7) 公安委員会表彰(感謝状)の審議

交通部から、公安委員会表彰(感謝状)の審議について伺いがあり了承した。

### (8) 警察職員等の援助の要求

警備部から、警察職員等の援助の要求について伺いがあり了承した。

### (9) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞

交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果13件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

## 3 報告事項

### (1) 令和4年度警察職員(初級)採用試験の申込状況

警務部長から、令和4年度警察職員(初級)採用試験の申込状況について報告があった。

委員から、「一般職員は警察官と共に県民の安全・安心を確保するという重責を担う。性別を問わず、優秀な事務職員の確保に努めていただきたい」との発言があった。

(2) 令和4年度「全国地域安全運動」の取組予定

生活安全部長から、令和4年度「全国地域安全運動」の取組予定について報告があった。

委員から、「全国目標とは別に県独自の目標を立てるなどしており、より一層の効果が期待できる。警察と学校との協力関係を強化しながら、子供等の犯罪被害防止に取り組んでいただきたい」との発言があった。

委員から、「『全国地域安全運動』の取組が県民に周知されるよう積極的な広報活動に努めていただきたい」との発言があった。

(3) 官民連携によるサイバー犯罪広報啓発CMの制作と放映

生活安全部長から、官民連携によるサイバー犯罪広報啓発CMの制作と放映について報告があった。

委員から、「あらゆる機会を通じて県民に情報発信することが大切である。引き続き、県民に分かりやすくインパクトがあるCM等による広報活動に努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「犯罪手口は日々巧妙化している。サイバー犯罪被害の未然防止に向け、県民が必要とする正確な情報をCM等でタイムリーに発信していただきたい」との発言があった。

(4) 殺人事件被疑者の検挙（新居浜署）

刑事部長から、殺人事件被疑者の検挙について報告があった。

委員から、「こうした悲惨な事件が二度と起こらないように、関係機関と連携しながら再発防止に努めていただきたい」との発言があった。

(5) 令和4年秋の全国交通安全運動の実施

交通部長から、令和4年秋の全国交通安全運動の実施について報告があった。

委員から、「学校を始めとする関係機関と連携しながら、県民全体の交通安全意識の向上を図るとともに、子供の安全確保に向けた通学路の点検や通学路における各種交通指導取締りに取り組んでいただきたい」との発言があった。

委員から、「『大人も手を上げよう』運動をきっかけに、横断歩道における車両の一時停止率が向上していると感じる。引き続き、県民に対する広報啓発活動に努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「夕暮れ時における高齢歩行者の交通事故防止に向けた各種対策に取り組んでいただきたい」との発言があった。

(6) 採用募集を目的とした交通警察JOBセミナーの開催

交通部長から、採用募集を目的とした交通警察JOBセミナーの開催について報告があった。

委員から、「優秀な人材の採用に向けて、工夫を凝らした採用募集活動に取り組んでいただきたい」との発言があった。

委員から、「採用募集活動には白バイ訓練見学や体験乗車などの実体験が有効である。引き続き、受験者等が興味を抱くような説明会を実施

していただきたい」との発言があった。

(7) 初任科第182期卒業式の実施

警察学校長から、初任科第182期卒業式の実施について報告があった。

委員から、「警察学校での厳しい訓練等を乗り越えた初任科生が第一線で活躍することになる。配置先の警察署は、新任警察官を温かく見守りながら一人前の警察官に育て上げていただきたい」との発言があった。

委員から、「コロナ禍で様々な制限がある中、初任科生を大切に育て上げた学校教官等の熱意ある指導に敬意を表したい」との発言があった。

(8) 苦情の受理及び処理状況

総務室から、令和4年8月末現在の苦情の受理及び処理状況について報告があった。

(9) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件に関する報告があった。

(10) 損害賠償事案の知事専決処分

警務部から、損害賠償事案の知事専決処分に関する報告があった。

(11) 飲食店営業を営む者に対する不利益処分に係る聴聞の実施

生活安全部から、飲食店営業を営む者に対する不利益処分に係る聴聞の実施に関する報告があった。

(12) 警護を取り巻く現状と課題

警備部から、警護を取り巻く現状と課題に関する報告があった。

#### 4 その他

(1) 警備部長から、9月7日に開催された全国警察本部長会議の結果について報告があった。

(2) 本部長から、「若手の育成について、若手を成長させるという本来の指導の目的を達成するためには、指導する側が相手を思いやり、成長しているかどうかを確認しながら指導することが大切である。県警では、引き続き、委員説示のとおり、世代間格差等の視点を踏まえつつ、周知徹底してまいりたい」「8月に新たな警護要則が施行され、県警でも警護警備を実施し完遂した。引き続き、県警一丸となって、新たな警護要則に基づく措置と検証の見直しに基づく取組を適切かつ強力に推進しながら、警護警備に万全を期したい」との発言があった。

以上